

第1回 国営沖縄記念公園(海洋博地区)魅力向上推進協議会  
＜議事要旨＞

■日時：令和7年7月14日(月)13:30～15:10

■場所：国営沖縄記念公園事務所 会議室

■議事

【「行為の禁止等に関する取扱要領」の改訂について】(報告)

○前回協議会で諮った改訂について、令和7年3月24日付けで正式に改訂した。個別の案件ごとに協議会で議論していく。

○来園者からの様々なニーズにどう応えていくかが大事になってくる。改訂された取扱要領をどう活用していくか検討していく。

【夕日の広場におけるキャンプ&バーベキュー(実証実験)】(報告)

○キャンプは8件27名が利用。バーベキューは利用者無し。利用者からは好意的な意見を、キャンプ事業者からは収益性に対する課題や周知方法等について意見をいただいた。今後、両事業の実効性について検討していく。

○公園の新しい魅力、宣伝効果も含め、効果はある。課題をクリアしながら続けていくと良い。

【本部の食と文化フェスタの開催について】

○本年度、第1回は7月26、27日、第2回は11月に開催予定。第3回は3月にトヨタのラリーと同時開催する予定。おきなわ郷土村を会場とし、ヤギ汁やパイナップル等の本部町の特産品販売、サトウキビ絞り体験、黒糖作り体験なども予定。行政区や芸能集団による伝統芸能の披露も予定。地域のおじい、おばあが、観光客の方と触れ合い話をする企画も検討したい。

○地域では伝統文化を保存していこうという機運が高まっているが、豊年祭は六年に一回しか行われなため、伝統芸能の継承が難しくなっている。おきなわ郷土村の舞台で伝統芸能を披露する機会が増えれば、地域の若者が目標を持って練習できるので、地域として非常に助かる。また、観光客に食文化も含めて披露することで公園と地域を往来していただく機会が増え、地域発展、地域振興の原動力になっていく。

○豊年祭を開催できない行政区も出始めている。おきなわ郷土村で伝統芸能を披露し、継承できるような形にしていけるとよい。

○おじい、おばあが観光客と話をする企画は、うまく演出して仕組みを作れば面白い企画になる。

○おじい、おばあが郷土村で昔の衣装を着てウチナーグチで話したら、観光客は大変喜ぶと思う。

○ラリーチャレンジと食と文化のフェスティバルはターゲット層が全く異なるため、隣接して開催することで幅広い層に沖縄の文化を知ってもらいたい機会になる。

#### 【トヨタラリーチャレンジの開催について】

○来年 3 月、本部町で開催予定。サービスパーク、メイン会場として海洋博公園を、セレモニアルスタート会場としてエメラルドビーチを利用したい。公園駐車場の一般利用に支障が出ないように、ラリー観戦者向けに別途駐車場を設け、シャトルバスを運行させる予定。おきなわ郷土村では、食と文化フェスの同時開催を予定。

○園内は低速で走行するのであれば、安全管理については問題ない。また、駐車場についても、イベント側で臨時駐車場、シャトルバスを用意してもらえれば問題ない。メイン会場周辺では一般利用とイベント参加者とのバッティングが生じないよう誘導に協力する。

○県道 114 号線は県管理なので、ぜひ土木事務所にも情報共有して欲しい。事前に情報があれば、除草作業等のタイミングを調整するなどイベントとの連携も可能なので、余裕を持って調整してほしい。

○ラリー大会について、思ったより地域のみなさんの関心が高いことに驚いている。八重岳は住宅もあって生活道路もあるが、しっかり周知をしているため、前はクレームも無くみんな喜んでいた。

○本部町提案の「食と文化フェスタ」、「トヨタラリーチャレンジ」については承認された。

#### 【桜華爛漫沖縄花火 2026（阪急交通社主催）】

○沖縄北部地域へ誘客し、本部町をはじめ北部地域の宿泊施設を積極的に活用、本部町団体との連携による郷土芸能演舞や特産品にも触れていただき、地域貢献に寄与することを目的としている。会場はエメラルドビーチを予定。沖縄国際洋蘭博覧会の開催と重なるため熱帯ドリームセンターも同時に楽しんで頂ける。昨年度は、美ら島財団も共催となったが、「行為の禁止等に関する取扱要領」の改訂を受け、今回は阪急旅行社主催で予定。

○夏だけではなく、冬にも花火大会が開催されれば、公園、本部町双方の魅力がより高まるので、積極的に対応していいと思う。

○前回参加した方から、沖縄の伝統芸能が見られたこと、白い砂浜に沈む夕日がものすごく綺麗だったこと、夕日の後に花火という三点セットがものすごく魅力的で、リピートしたいという声をいただいた。

#### 【熱帯ドリームセンター愛称募集】

○熱帯ドリームセンターは来年の 2 月で開館 40 周年の節目を迎える。以前よりドリームセンターという名称から植物園をイメージできないという意見があり、開館 40 周年を迎えるにあたり、愛称とキャッチコピーを募集して、よりお客様に親しみやすい施設にしていく。応募期間は今年の

9月から11月まで、結果は開館40周年の日にあたる2月8日(日)に発表する予定。選考方法は協議会で決定することを考えている。ドリームセンターをより理解してもらうため、応募期間中に特別ガイドツアーを開催する予定。

○40周年をうまく活かして、ドリームセンターへ足を運んでもらえる仕組みを考えていく。ドリームセンターの良さがよく伝わるよう、愛称だけでなく、キャッチコピーも合わせて公募する。

○名称は以前からの課題。今回、広く公募して、ワクワク感のある、行きたくくなるような愛称、キャッチコピーができるとうい。町も広報での呼びかけ、教育委員会をとおして町内小中学校へも呼びかけを行う。またFMもとぶでも呼びかけを行っていきたい。

○ドリームセンターの40周年と合わせて、海洋博公園の50周年記念として実施すると、公園全体のPRになる。

○美ら島財団提案の「桜華爛漫沖縄花火 2026」、「熱帯ドリームセンター愛称募集」については承認された。

#### 【意見交換】

○6月議会で、公園は心と体の健康づくりの拠点でもあり、公園の魅力化の一つとして、グランドゴルフのコースをパークゴルフのコースにできないかという提案があった。

○公園における新しい取組について、申請側、許可側、双方とも、前例がないことが悩みであったが、前例のない取組でも協議会で協議が調えば進めていく姿勢がすごく良い。

○沖縄美ら海水族館は国内外の多くの人々が利用しており、地域の特産品をPRする場所としては最適。水族館のショップ等を本部町のPRの場として活用させて頂いているが、今後も引き続きよろしく願います。

○夕陽の広場付近(昔アクアポリスがあった場所の右手)にアンモナイトの化石があって本部町の教育委員会の碑が立っており、夕日の広場と合わせた形で整備できないかと考えている。